



『令和4年度 文化庁 Innovate Museum事業』

介助犬のひろば in 上越

参加無料
手話通訳有



日時 2022年11月13日(日)10:00-16:30

場所 高田城址公園オーレンプラザ

新潟県上越市本城町8-1

内容 10:00-12:00 / 介助犬・盲導犬のデモンストレーション

10:00-13:00 / 守れ！文化財事業プレゼンテーション

14:00-15:30 / 講演会「聴導犬と共に生きる」安藤美紀さん

10:00-16:30 / 高田盲学校の歴史展示

主催 「守れ！文化財～モノとヒトに光を灯す～」事業実行委員会

新潟県長岡市関原町1-2247-2 新潟県立歴史博物館内(担当:山本)

TEL:0258-47-6141 FAX:0258-47-6136 E-mail:koryu@nbz.or.jp

上越市立歴史博物館
JOETSU CITY HISTORY MUSEUM



新潟県立歴史博物館
The Niigata Prefectural Museum of History



高田駅「高田駅前案内所」から「中央病院」行きバスにて「上越地域振興局庁舎前」降車徒歩約10分。

介助犬のひろば in 上越



病気や事故で、戦争や災害で、年をとって、体が自分の思い通りに動かなくなったとき、どのように暮らしていきますか。

あるいは身体的なことに限らなければ、思い通りにならないことは誰にでもあります。

悲しくても、やりきれなくても、日々を過ごしていかなくてはなりません。どうやって「障害」と向き合うのか、乗り越えるのか、逸らすのか、考えるヒントを集めました。



講演会「聴導犬と共に生きる」

安藤美紀さん、安藤一成さん

要申込み
定員：30名



生まれたときから音のない世界で生きてきた安藤美紀さん。言葉を獲得するまでの道のり、子供時代の飼育犬とのエピソード、聴導犬との出会い、子育ての苦労と喜びなどを面白おかしく語っていただきます。安藤一成さんのミニコンサートもお楽しみに。

安藤美紀さん

生まれつき全く聞こえない高度聴覚障害。ペットの犬から音源の場所を教えてもらいながら母の厳格な訓練によって言葉が話せるようになる。38歳で聴導犬と共に生きることを決める。コミュニケーションの重要性を痛感し、講演会、漫画執筆、演劇活動などを通じて障害者の自立や聴導犬の啓発活動を行っている。

申込み/電話、FAXまたはE-mailで「氏名・連絡先・参加人数」を添えてお申込みください。

TEL:0258-47-6141 FAX:0258-47-6136 E-mail:koryu@nbz.or.jp (新潟県立歴史博物館)

介助犬デモンストレーション

(社会福祉法人日本介助犬協会)



手足が不自由な方のサポートをする介助犬。

介助犬と一緒に自立や社会参加が可能な人がいます。

どんなお手伝いができるのか実演してもらいます。

盲導犬デモンストレーション

(公益財団法人日本盲導犬協会)

目が見えない方のサポートをする盲導犬を連れていても、街には多くの危険が潜んでいます。盲導犬の役割を知り、私たちにできることを教えてもらいます。

高田盲学校の歴史展示

「守れ！文化財事業～モノとヒトに光を灯す～」事業実行委員会では、明治時代に開校した高田盲学校の歴史資料の調査をしています。調査の途中経過と同校の歴史資料等を展示します。今後の調査のために、同校の思い出やエピソードをお持ちの方はぜひお話をお聞かせください。

